

(案)

令和7年 月 日

嘉麻市長 赤間 幸弘 様

嘉麻市デジタル推進協議会
会長 川原 憲 治

令和6年度嘉麻市デジタル推進計画進捗について（報告）

標記の件について、令和5年度に策定されました嘉麻市デジタル推進計画（カマデジ）ですが、当協議会に対して計画に係る進捗管理を諮問されたところです。

つきましては、協議会委員により令和6年度（3月末見込）における進捗管理を行いましたので、下記のとおり報告をいたします。

貴市におかれましては、今後におきましても計画を確実に実行していただきますようお願い申し上げます。

記

令和6年度において、中間報告では検討中が40%残っている状況でしたが、その後、関係者皆さまのおかげで、未着手、検討中が0となり、全て進捗以上の結果となりました。計画全体を通して当初より随分進捗したことは当協議会においても評価いたします。

令和7年度以降においても、前回指摘しましたとおり、本計画が絵に描いた餅にならないよう市民全体のITスキルの向上をお願いするとともに、今後更なるデジタル推進を図っていただくようお願いいたします。

なお、当協議会として、令和6年度の進捗に関して各委員より要望のありました意見等を、別紙のとおり附帯意見として添えます。

以上

嘉麻市デジタル推進計画進捗についての附帯意見

※アクション NO. 1 「デジタル技術の啓発」

- ・市役所の部署でも参加できる事を考えました。⑮、⑯の施設申し込みもデジタルまつりの中で出来るのではないのでしょうか?また、⑳のお使い便をお店の方などにブースを用意していただき、スマホを利用しておつかい便を後日お家に届けてもらうようにすると販売が当日ではないのでいいのではないのでしょうか?
- ・開催時期/場所の予定を示されてはいかがでしょうか? (同一場所の2回目以降はその目的についても)
- ・道具が揃っていないと楽しめる人と、楽しめない人が出て差がでることはもったいない。難しいかもしれないが、充実した環境のなかで開催できたら良いのかなと思います。
- ・通常まつりがある場合、目立つところ(交差点等)に看板が立っているが、今回は第2回のデジタルまつりでは、立っていなかったのも、誘導が出来ていなかった。今後、デジタルまつりの際にはそうした立て看板等を立てた方が良いのではないのでしょうか?
- ・のぼり旗などはネットで安く購入できるが、その様な物があると目立つので、とても分かりやすいと思います。地元の人なら場所は分かるが、地元ではない人は分かりにくいので、のぼり旗などがあつた方が良いと思います。
- ・デジタルまつりについて
デジタル技術を身近に感じるという内容は良いと思いますが、やっていることが、デジタルの啓発になっているかは些か疑問が残ります。
例えば、レンタルスマホの貸し出しを行い、祭りの中の支払いを全てキャッシュレス支払いにして、デジタル化に触れてもらう等して、もう少し啓発をしても良いのではないですか?
また、LINE や防災情報の確認の仕方など、スマホの利便性をPRして、1人でも多くの市民の方がガラケーからスマホに切り替えて、使いこなせるようになる等の成果をあげて頂きたいです。

※アクション NO. 2 「マイナンバーカードの普及促進」

- ・目標値の設定がある場合、年度ごとの暫定目標値も設定した方がよいのではないのでしょうか？（その値に基づく年度計画の見直しが可能となると考えられます。項目3以降も同様に設定可能な項目があると思います。）

※アクション NO. 3 「マイナンバーカードの利活用促進」

- ・目標値の設定がある場合、年度ごとの暫定目標値も設定した方がよいのではないのでしょうか？（その値に基づく年度計画の見直しが可能となると考えられます。項目3以降も同様に設定可能な項目があると思います。）

※アクション NO. 4 「公共ネットワーク設備の推進」

- ・夢サイトでのまつりの際は、Wi-Fiがなく、設置してほしいと多くの声を聞きました。その後、夢サイトではWi-Fiを設置してもらいました。次回の開催は山田地区だと思うが、間に合うのでしょうか？山田生涯学習館はWi-Fiは設置しているのでしょうか？

※アクション NO. 6 「インターネット利用機会の向上」

- ・目標値に改善度合を示す場合、実施前（R5年度）の値を備考に示されてはいかがでしょうか？

※アクション NO. 7 「地域へのデジタルツールの普及促進」

- ・2地域×3年の6地域に導入となりますが、その数の設定根拠を示された方がよいと思います。

●アクション NO.7 「地域へのデジタルツールの普及促進」

- ・デジタル化促進の補助事業とありました。回覧板を回さなくてもいい、ペーパーレス、印刷費削減にもつながります。
しかし、地域のコミュニティが薄れる可能性もあるかとおもいます。
このデジタル化の促進は慎重にならなければならない部分だとおもいます。
コミュニティが崩れ、人間関係が希薄になるのは好ましくないとおもいます。

※アクション NO. 8 「市民のスマホ保有率向上推進」

- ・市民の高齢人口比率により保有率の上限は凡そ決まると思われるので、その情報を備考に示されてはどうでしょうか？

※アクション NO. 11 「未来を担うこどものためのデジタル教育実施」

- ・目標は1人1台活用計画ですが、デジタル教育の継続実施のアウトプット、すなわち、何らかの成果報告会の実施など必要ないでしょうか？

※アクション NO. 13 「本庁と支所のオンライン化拡充」

- ・デジタル推進にあたり「本庁と支所をつなぐシステム構築」は最重要施策ではないかと考えます。3年度計画とはなっておりますが前倒ししてシステム構築を目指し、その上で他施策の構築/実現を図るという進め方もあるかと思えますがいかがでしょうか。

※アクション NO. 14 「デジタルを活用した英語によるコミュニケーション能力の向上」

- ・備考欄に英検受験とありますが、これはどういった事になるのでしょうか？英検受験の費用などはどうなるのでしょうか？

●アクション NO.14 「デジタルを活用した英語によるコミュニケーション能力の向上」

- ・オンライン英会話は場所を考えずに気軽にお試しできる良さものだと思いますが、子どもたちにとったら ALT の方が来られて生に体験をするほうがコミュニケーション能力があがるのではないかとおもいます。
もし、デジタルを使用しての英語のコミュニケーションを向上させるのであればドリルなど子どもたちが面白くなるアプリを使用するほうがいいとおもいます。

※アクション NO. 15 「子育て世代の連絡ツール活用推進」

- ・tetoru の資料や実施計画シートには学校でデモンストレーションを実施中とありますが、まだ保護者を交えての実証実験は行っていないので文言を変えたほうがいいのでは無いでしょうか？

※アクション NO. 17 「デジタルを使った市内経済の活性化推進」

- ・地域通貨は何をしようされますか？
かまししちゃんアプリを利用すればあまり費用もかからないよではないでしょうか？かまししちゃんアプリを PayPay のように色々な内容を取り組めばもっとつかいやすいと思います。

※アクション NO. 19 「施設等予約申し込みのオンライン化推進」

- ・スポーツ推進課の現状維持で検討中とありますが、既存の予約システム体育館の館内の予約など十分だと思うので評価を上げてもいいと思います。

※アクション NO. 28 「IT事業者との協働による地域デジタル化推進」

- ・かまししちゃんアプリの登録者数なども考えると1からアプリなどを開発するよりは費用がかからないのではと思います。このかまししちゃんアプリを使用することに弊害があるならば無理だとは思いますが嘉麻市主動で行政使用ならば、信頼性はあるのではないのでしょうか？

※アクション NO. 30 「DXを推進する市内事業者の活動を支援」

- ・予算・補助金について

中小企業経営革新等遂行支援補助金は、本来福岡県の経営革新計画の認定を受けた事業所に対しての補助金であるため、デジタル化の補助金とは切り離して新設して頂きたい。現状として、デジタルに枠を取られ、経営革新計画の承認を受けた事業所が補助金をとれないとという状況に陥っています。

- ・具体的にどのような支援を検討されていますか。例えば、POSレジやスマートレジなどの機器導入に係る助成。
- ・先進事例等の調査研究中となっている項目が多いですが、具体的にはどのような先進事例を調査しているかを明示してください。
- ・市内事業者へ啓発、情報提供はイベント等を通じ具体的にどのようなことを実施しているまたは、行う予定ですか。商業に限り、既に整備されている大型店のような事業者や大手フランチャイズ事業者を除き、市内で大多数を占める個人小規模事業者へ具体的に実現可能な範囲でのDXの内容や実施方法、それに伴う経済的効果、業務効率向上効果、設備投資への理解を示さなければ市内全域での推進は困難なのではと考えます。また別途、デジタルに苦手意識を示す高年齢の事業主への支援も必要だと考えます。

※アクション NO. 31 「災害に強い情報管理体制構築の検討」

- ・LINEから防災関連ページにアクセスできるのは完了の評価でいいと思います。しかし…そのページにはないもの、例えば遠賀川河川のライブカメラなど情報を加えていただけると河川に近い地域の人などには必要だと思うので市民の状況や欲しい情報などを随時更新していただけるともっと使いやすいページ

になるとおもいますので、よろしく申し上げます

※アクション NO. 33 「デジタル推進に伴うセキュリティの向上」

- ・⑩と⑳に LINE を使用とありますが、先日も情報漏洩問題で行政指導が LINE に入っています。安心性に懸念がある中で個人ではなく自治体が推進するのはこの㉓と相違を感じます。

嘉麻市にはかまししちゃんアプリがあるのでそちらの促進を進めてははいかがでしょうか？かまししちゃんアプリは登録者も多く嘉麻市の情報も載せやすいのではないのでしょうか？アプリの権限が今、嘉麻市なのかアプリ開発会社のどちらにあるのかは存じ上げませんが、このアプリを市の総合アプリとして進める方が他のことも一緒に進んでいくように思います。

●アクション NO.45 「庁内決裁の電子化推進」

- ・ペーパーレスの取り組みはよく頑張られているとおもいます。500 万円の印刷費削減はその成果だとおもいます。

※アクション NO. 47 「嘉麻市公式 YouTube による行政情報の周知・啓発推進」

- ・YouTube の活用アクションには、財政難とは思いますが広告料をかけるべき。嘉麻市内の広報等はよくやっている、市外への情報提供弱い。YouTube には嘉麻市の強み、高校生までの医療費免除、通学補助等を宣伝し、定住促進を目指すべき

●アクション NO.48 「嘉麻市公式 HP、SNS 等による効果的な行政情報発信の拡充」

- ・デジタルまつりの年 2 回の開催は評価されると思いますが、参加人数が少なくなってきたので継続していくごとに参加人数が増えるようになれば良いなとおもいます。また出前講座やスマホ教室も利用状況が減少しているのが懸念してます。写真をみると高齢者向けが多く見受けられますが、若年層や学校もしくは子ども会などでスマホ講座があれば子どもの情報リテラシーも育成できるのではないのでしょうか！？ご検討ください。

以上

「※」は、令和6年4月3日～4月30日、令和6年6月6日～6月21日、9月12日～10月18日までの間にて集約しました意見等となります。

「●」は、令和7年2月27日～3月14日の間にて集約しました意見等となります。